

## 『平成23年度政府予算提言・要望』を行いました！！

～ 達増知事が高規格幹線道路等の整備促進や名古屋圏との航空ネットワークの確保などを提言 ～  
**県土整備企画室**

平成22年度の本県の国土交通省関係の直轄事業費は、道路整備事業で対前年度比24%減、港湾・海岸整備事業で対前年度比34%減となるなど、大幅な減少となり、完成時期の遅れなどが懸念されます。また、今年度創設された「社会資本整備総合交付金」等の本県への補助事業などの予算も対前年度比24%減（国費ベース）と大幅な減少となり、本県にとって必要な社会資本を適切に整備し、維持管理していくための予算が十分に確保されているとは言えない状況にあります。

このため、本県では、平成22年8月3日（火）民主党の松浦副幹事長、国土交通省の津川政務官に対して、『平成23年度政府予算提言・要望』を行いました。

国土交通省関係では、達増知事から、**三陸縦貫自動車道などの高規格幹線道路の整備促進や、久慈港の湾口防波堤などの港湾・海岸整備事業の促進、地方の社会資本整備を推進するための予算の確保**などを求めたほか、平成22年5月6日からいわて花巻空港～名古屋（中部国際）線が運休されたことに伴い、**名古屋圏との航空ネットワークの確保を要望**しました。

県では、今後とも、必要な社会資本整備を着実に推進するため、国や民主党などに対し、提言活動等を行っていきます。

民主党 松浦副幹事長への提言



### 平成23年度政府予算提言・要望（国土交通省関係抜粋）

平成22年8月3日 岩手県

- 1 道路整備事業の促進について
- 2 防災施設整備事業の促進について
- 3 港湾・海岸整備事業の促進について
- 4 ダム建設事業の促進について
- 5 名古屋圏との航空ネットワークの確保について
- 6 地方の社会資本整備を推進するための予算の確保について

国土交通省 津川政務官への提言



### 大船渡港が

『新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾』  
**に選定されました！！**

いわゆる「重点港湾」

平成22年8月3日、国土交通省が『新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾』、いわゆる「重点港湾」として、全国103港の重要港湾の中から43港を選定したと発表し、本県では、**大船渡港が選定**されました。

県では、築造後40年以上経過して老朽化が進んでいる大船渡港の湾口防波堤について、直轄港湾整備事業による緊急な対応が必要であることから、大船渡港をいわゆる「重点港湾」として選定するよう、重要港湾のある沿岸各市の理解もいただきながら、国に働きかけてきました。

今後は、大船渡港の湾口防波堤改良の早期事業化や、現在整備中である久慈港の湾口防波堤や、宮古港の竜神崎防波堤の整備促進を引き続き要望していきます。